

奥八女芸農学校 公開シンポジウム

アートと農のこれから

2017年 11月 25日(土) 15:00~17:30

会場：笠原東交流センター えがおの森 体育館

八女市黒木町笠原 9836-1 (駐車場あり)

2017年に九州大学ソーシャルアートラボの主催により始まった「奥八女芸農学校」。アーティストと連携した地域づくりを学ぶ実践講座を行ってきました。今回は、受講生による企画発表を行うとともに、徳島県神山町で先進的なアーティスト・イン・レジデンス（アーティストが地域に滞在しながら作るアートプロジェクト）などの取り組みを行う大南信也さんのお話を伺い、これからのアートと農の関わりについて議論します。

第一部 企画発表

取り組み紹介「奥八女芸農学校」

長津結一郎（九州大学大学院芸術工学研究院助教／アートマネジメント）

企画発表「アートと農、笠原への提案」

実践講座「奥八女芸農学校」受講生

第二部 講演&ラウンドテーブル

講演「徳島県神山町におけるアーティスト・イン・レジデンスについて」

大南信也（認定特定非営利活動法人グリーンバレー理事長）

ラウンドテーブル「創造的生態系：そこにあるものから何が生まれるのか？」

大南信也、小森耕太（NPO 法人山村塾事務局長）、三満田巧（九州芸文館学芸員）、大澤真雄（九州大学ソーシャルアートラボアドバイザー・ニッセイ基礎研究所主任研究員）、ジェームズ・ジャック（アーティスト・九州大学ソーシャルアートラボプロジェクトメンバー）、朝廣和夫（九州大学大学院芸術工学研究院准教授／緑地保全学）、進行：長津結一郎

*申し込みは不要です。お気軽にお越しください。

ゲスト講師



大南信也 認定特定非営利活動法人グリーンバレー理事長

1953年徳島県神山町生まれ。米国スタンフォード大学大学院修了。神山町国際交流協会を通じて「住民主導のまちづくり」を展開し、1999年「神山アーティスト・イン・レジデンス」などのアート事業も手がける。2007年神山町移住交流支援センター受託運営を開始し、2011年度には神山町史上初となる社会動態人口増を達成。ITベンチャー企業等のサテライトオフィスも数多く誘致。「創造的過疎」を持論にグローバルな視点での地域活性化を展開中。ふるさとづくり有識者会議委員（内閣官房）、徳島大学客員教授、四国大学特認教授、東北芸術工科大学客員教授。